

活き生き

# TUMA

つま

## まちづくりフェスタ



西脇市制10周年記念事業として、平成27年7月5日(日)午前10時から午後3時まで、マナビータ・プラダでまちづくりフェスタが開催された。市内8地区のまちづくり協議会と、市民提案型まちづくり事業団体によ

る、パネル展示や体験ブースや出店があった。

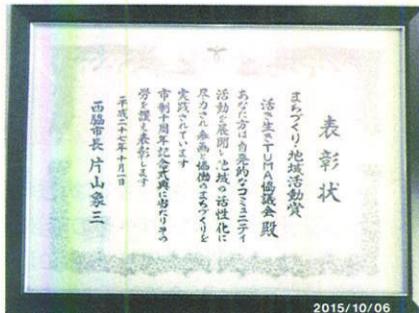
楽しい出店は、8地区それぞれの特色が出たものが集合した。キャベツ焼きやホルモン焼きソバ、かき氷、ひょうたん焼き、綿菓子サービス、移動販売車による惣菜・飲物、寄せ植え体験や販売などがあった。

活き生きTUMAでは、役員と地区内有志の協力を得て、ソフトクリームとポン菓子、あじさい苗を販売した。何回も練習を重ねて、詰める袋や量を研究したり、みんながびっくりしないように、大きな音を出すポン菓子機を倉庫の中に設置したり、ワイワイがやがやにぎやかにおまつりに参加した。普段経験したことのない呼び込みをしたり、フェスタに参加している人々へ出張販売をしたりした成果が、全て完売した。



## 市制10周年記念式典において

### 活き生きTUMA協議会が受賞



平成17年10月1日に旧西脇市と旧黒田庄町が合併し、新しい西脇市が誕生してから10周年を迎えた。

その式典において活き生きTUMA協議会が、自発的なコミュニティ

活動を展開し、地域の活性化に尽力したことによる、【まちづくり・地域活動賞】を受賞した。

他にも西脇市の発展に尽力し、その功績が顕著な人や市民の模範となる善行のあった人も表彰された。

活き生きTUMA協議会は、みなさんと共に、一人一人が大切にされ、元気が出るまちづくりを目指して、これからも頑張っていきたいと思う。



### TUMAこいカフェ 開業にむけて

5月の総会で承認され、喫茶部（TUMAこいカフェ）が立ち上りました。村岡和夫部長、笹倉智津子副部長を中心に、実行委員会を組織し、春のオープンをめざしています。みんなの思いが具体的な形になってきました。今後は、趣旨に賛同して、一人でも多くの方にスタッフとして参加していただきたいです。西林寺あじさい園の入り口の、素敵なカフェで、素敵なスタッフがお待ちしています。もうしばらく、お待ちくださいね。



### 見えるまちづくり

あじさい祭りのあと、次年度に向けてのあじさいの挿し木や花落とし、そして、昨年度から育てられてきた苗の、畑への植え替えなど、あじさいクラブの活動は今も続けられている。

そして、今回10月12日(日)に、坂本の畠を借りて育てていたあじさい70本を、やすらぎ苑へ提供することができた。



### さわやか交流祭に集まろう

一人一人の人権が大切にされるまちづくり、「いきいきといのちがつながる交流祭」をテーマに開催されます。

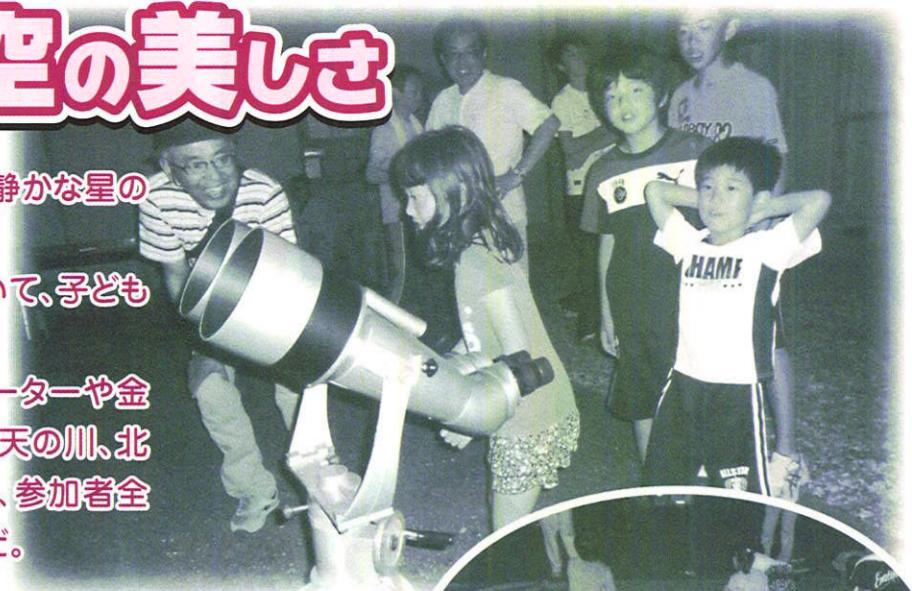
〈日 時〉 11月1日(日) AM9:00~PM5:00  
〈会 場〉 大野隣保館

# 津万平野から見る空の美しさ

空は曇りから晴れへ、時間の流れと共に空全体が、青く静かな星のキャンパスへと変化していった。

今年の夏、7月25日午後6時頃から坂本の公民館において、子どもたちは星の観察に心を躍らせていったのである。

200倍に設定された望遠鏡2台が設置され、月のクレーターや金星や土星の姿形をくっきりと見せてくれた。夏の大三角、天の川、北斗七星、北極星…坂本の区長さんや役員の皆さんはじめ、参加者全員驚きの声を上げ、親子の触れ合いもしっかりとできたようだ。



## この人紹介します



忘れてはならないのは、この観察や星の話を子どもたちに提供し、専門的に望遠鏡を操作される方、本田則幸さん（坂本副区長）のことである。

本田さんは、テラドーム建設委員会のメンバーとして最初からテラドーム建設に関わって来られた。そこで、その当時の苦労話等をお聞きすることができた。

退職後の本田さん。今でも星に魅せられ、限りないロマンを追い続けておられるとか。そっと、もう一度、夜空を見上げてみた。

### テラドーム建設秘話

本田 則幸

平成2年、当時の竹下内閣が打ち出したふるさと創生事業の一環として、西脇市では地理的遺産である経緯度交点を切り口にした科学館建設案が策定されました。

科学館の目玉として天文台が併設されることとなり、東京大学名誉教授で西脇市出身の天文学者、高瀬文志郎先生を座長に天文台建設検討委員会が設立され、委員会のメンバーとしてプロジェクトに関わることとなりました。

こうした中、市役所内に科学館建設準備室が開設され、同時に人事異動で配属となり、科学館及び天文台開設の第一線に立つこととなりました。

プロジェクトは既に自治省のまちづくり特別対策事業にも採択されており、創造性の高い事業として、科学技術庁や教育関係者からも注視されています。

日本中の市町村が創意を試される中、トップダウンの指示は「お前の思うようにやれ、ただし不可能を可能にする努力をせよ、妥協はするな、最高の物を造れ」でした。

技術的なトラブル、アドバイザーとして参入した知識人や著名な建築家と現場担当との衝突と軋轢、様々な人間模様と困難を経て、天文台への望遠

鏡設置前日を迎ました。しかし、悪夢のような事態がその日の深夜に発覚。念のために確認したドームのスリット（開閉口）幅がわずか望遠鏡より小さかったのです。

『望遠鏡がドームに入らない!』衝撃が走りました。明日の天文台への望遠鏡導入は、マスコミへのお披露目も含み公開イベントとして行われます。静まり返った深夜の天文台、どうしようもない絶望感と確認ミスへの後悔で体が打ち震え、呆然と立ち尽くしました。

しかし、ここから奇跡とも思える感動のドラマが展開したのです。技術者達が立ち上がったのです。組み上げた巨大望遠鏡を明け方までに分解し、重さ数トンもの各パーツをドーム内の空中で再度組み上げるという至難の業を成し遂げたのです。わずかな操作ミスで指や腕がすっ飛び危険な作業です。しかも、望遠鏡を組み上げた段階で技術者達の疲労はピークに達していました。まさに不可能を可能にする究極の挑戦が始まりました。

公開導入当日、報道関係者などで賑わう表舞台とは裏腹に、緊張の極限に達したドーム内では怒声が響き、ボルトやナットが容赦なく飛び交う戦場となっていました。

平成5年6月1日、様々なドラマを秘め、テラドームのオープン式典が盛大に開催されました。記念イベントには宇宙飛行士の毛利衛さんが来西、記念講演終了後、貴重な時間を割いて天文台に来られ、語りかけてくれました。「素晴らしい宝物を造られましたね!これからも青少年の夢を育んでください…」この言葉を受け、すべてが報われたような清々しい気持ちになりました。当



時、たかが望遠鏡に億単位の大金をかけて…という意見があったのも事実です。この答えと真価は、今後5年後、10年後、テラドームから巣立った子ども達が導き出してくれると言じています。

## 生き生きTUMA 講演会

ラジオパーソナリティーの  
**谷 五郎さんを迎えて**

テーマ  
**「人が元気、  
地域が元気で  
みんなハッピー」**

〈日 時〉 11月4日(水)  
19:00~

〈会 場〉 大野隣保館

## 都麻の里ウォークラリー

〈日 時〉 11月8日(日)

〈集合場所〉 大野隣保館

〈受 付〉 8:20~

〈出 発〉 8:45

〈コース〉  
大野隣保館→①大津神社→津万橋→  
②水車小屋→岡ノ山山頂→③方位の広場→  
緯度橋→④祇園神社→大野隣保館  
山登りに自信のない方は平坦路を②~③へ  
③でモーニングサービスと記念撮影

今年こそは良いお天気に  
なりますように…ね。

## 防災訓練(AED講習会)

〈日 時〉 11月20日(金)

PM7:30~

〈会 場〉 大野隣保館

〈内 容〉 AED講習会

## クリーン作戦

みんなで津万地域をごみのないきれいな町にしましょう。

一人でも多くの手をお貸しください。

〈日 時〉 12月5日(土)

PM9:00~

〈集合場所〉 西林寺子ども広場

## 西脇子午線マラソン 「へその市」-喫茶出店-

生き生きTUMA協議会では、数年前から西脇子午線マラソン「へその市」に出店し、売り上げの利益はまちづくりの活動資金に役立てている。今年も生き生きTUMAの「おもてなし」で、笑顔の輪を広げたいとみんな張り切っている。

〈日 時〉 12月13日(日)

午前中

ぜんざい・豚汁・コーヒー  
サンドイッチなど



津万地区のみなさんも  
是非お越し下さい。